

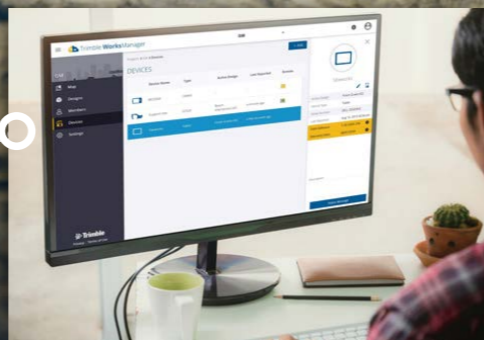
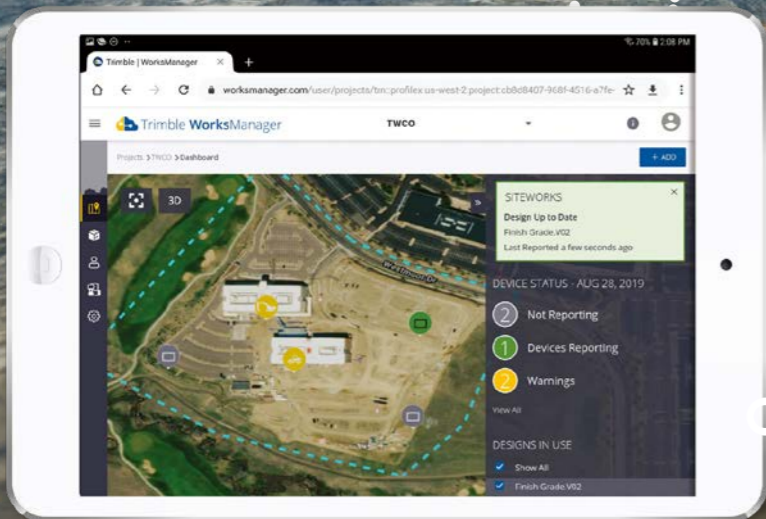
# TRIMBLE WORKSMANAGER

いつでもどこからでも現場を可視化



Trimble WorksManager は、現場の設計データや工事の進捗状況など、プロジェクトに関わる情報を総合的に管理するためのクラウドプラットフォームです。3次元設計データをリアルタイムにアップデートできるため、現場から離れた事務所や遠隔地でも、スマートフォンやタブレットで建機や測量デバイスの施工データを確認することができます。設計データの読み込みやトラブル対応などで現場とオフィスを行ったり来たりせずに、必要な場所で必要な時に現場の状況を把握・管理することで、現場全体の生産性を高めることができます。

## 現場がみえる



### オフィスと現場をつなぎ、さまざまなワークフローを改善します。

- ▶ Trimble WorksManager を使用すると、管理者は 1つの場所から複数のプロジェクトの複数人の作業員への調整指示を行うことが可能です。
- ▶ 管理者は、現場の重機がどの設計データで施工しているかを Trimble WorksManager で確認ができます。
- ▶ データ作成者は、設計変更が現場に正しく伝達・適用されているかどうかの確認が行えます。
- ▶ 現場を可視化して、誤ったデータを使用されるリスクを軽減、施工のベストパフォーマンスを引出し、費用対効果を最大化します。

### 常時接続で、最新情報を更新

- ▶ 使いやすいワークフローで、最新の情報をすばやく確認。
- ▶ スマートフォン・タブレットでも確認できるため、必要なときに必要な場所でデータを確認できます。
- ▶ Trimble Earthworks、Trimble GCS900、Trimble Siteworks、Trimble SCS900、Trimble Business Center と連携して、データの一元管理が可能です。
- ▶ 自動データ転送で現場と間のデータ連携ミスを無くし、手直し手戻りの無いより確実に生産性の高い手法で施工管理が行えます。

### 途切れなく情報を転送

- ▶ 最新の設計データをすべてのデバイスに共有することができ、データインポートのために臨場する必要がなくなります。
- ▶ デバイスへ IBSS 補正データをストリーミングします。

### ウェブ上で設計データの管理が可能

- ▶ 各デバイスにインポートされたデータを確認し追加・削除ができるため、施工に使用するデータ管理が容易になります。
- ▶ 各デバイスごとにインポート可能な設計データを選択することができ、誤ったデータをインポートすることがありません。
- ▶ Trimble WorksManager は、IBSS 補正を活用し既存の基地局の適用範囲を拡張できるため、GNSS 担当者、測量管理者は、作業員をより広いエリアに派遣することができます。

### リモートアシスタンス(遠隔画面サポート)

- ▶ オフィスから現場のデバイス画面を確認できるため、現場を止めることなく遠隔地からトラブルシューティングが行えます。
- ▶ ICT 担当者が現場に向かえない場合でも、オフィスや自宅でマシンの画面を見ながら操作説明が可能です。

